



校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

企業の見地から見た 若者たちに託したいこと

先日、(株)マツダで長年商品開発に携わられ、現在は県立広島大学特任教授の魚谷滋己氏のお話を聴く機会がありました。大変興味深いお話でしたので、その一部をご紹介します。

<これからの日本はどうなるのか？>

【マクロな視点】

まず2025年には、デジタルネイティブ(1980年以降に生まれたIT機器がある環境で生まれ育った人)が生産年齢人口の過半数を超え、今後は、IT社会が加速するばかり。また、求めなくても否応なしにグローバル化の渦が日常的に。女性の社会進出の加速・・・。

【ミクロな視点】

創造的な仕事が生き残り、処理業務はAIに淘汰される。満員電車で通勤といったようなことはなくなる等の労働形態の多様化。ITリテラシーは不可欠。マルチスペシャリストが重宝されるため、リスキリングは必須。

<若者に託したいことは？>

目指すべきは、欧米諸国が羨ましがられる、アジア諸国の範となる社会の構築。我が国の資源はやはり「技術」と「人材」。そのために身に付けるべき力は、科学的思考力、ITの基礎活用力、IT・情報・研究に必要な英語力(会話目的でない英語力)、自国の歴史認識力(歴史を振り返り、世界の中の自分の立ち位置を正しく捉える力)。

そして、「好きなことで尖れ!」「何でもよい!好きなことを突き詰めて、自分の武器にする!好きなことで社会貢献をする!自分の存在価値を高める!」

<追伸>

- 「奇跡の国 日本」を再認識した上で・・・
落とされた財布が戻ってくる、きれいな公共の場、水道の水が飲める、秒単位の正確な鉄道の発着、有史以来占領されていない・・・
- 見方を変える
右の地図は中国のスタンダードな世界地図。太平洋に向かうのに日本が立ちはだかっているように感じているかもしれない。

